

子ども教育 通信

～FAA活動～

学びを通して地域課題に挑戦!

※FAAとは「Fukui Academic Alliance」、つまり、人口減少や長寿命化、急速な技術変化など、福井県の大きな環境変化に対応するため、各大学等がそれぞれの魅力や特色を活かして産学官の連携を深めながら地域課題に取り組む活動です。



「子どものための音楽会」

～演奏会の企画と実践を通して地域貢献～

越前市の「かこさとしふるさと絵本館」にて、地域の子どもたちを対象とした演奏会「パピペポーおんがくかい」を実施しました。保育士や教員を目指す学生として、公の場での演奏経験はスキルアップの機会となります。また、地域の子どもたちに音楽の楽しさを生で体験してもらうことで、音楽人口の増加や文化の活性化につなげることも考慮しました。絵本の物語を音楽にしたり、アニメの曲をメドレーで演奏したりしたほか、手遊びなども行いました。特に印象に残ったのは、演奏会が育む保護者との関係です。音楽の活用は、保護者とのコミュニケーション活性化に有効であると感じました。



子ども教育学科3年
東 桜花
| 三国高校出身 |

子ども教育学科長
中野研也 教授

子ども教育学科3年
江端和音
| 武生東高校出身 |

子ども教育学科3年
佐々田夕希
| 武生東高校出身 |

子ども教育学科3年
佐々木香菜
| 鯖江高校出身 |

子ども教育学科3年
島口真里奈
| 金津高校出身 |

「バーチャルツアーをつくっちゃおう」

～子どもたちのICTを活用した地域への関心を促進～

越前市の武生中央公園で360°カメラを用いてバーチャルツアーを作成。絵本作家かこさとし氏監修の「だるまちゃん広場」のルートやスポット、いろんな遊具などの紹介を、画像や動画などを用いてバーチャルツアー上に用意しました。目指したのは、デジタルネイティブである現代の子どもたちが、自分の住んでいる地域について、気になったところを見て探究的に考えられる教材とすることです。子ども目線の撮影を心掛け、飽きないぐらいの程よい撮影ポイントの数などにも配慮しました。普段あまり触れないことのない360°カメラを使用できたのは貴重な体験です。



子ども教育学科
籠谷隆弘 教授

子ども教育学科4年
渡部 桃花
| 敦賀高校出身 |

子ども教育学科4年
堀江 麻衣
| 金津高校出身 |

子ども教育 通信 TOPIC

大学祭フィールドワーク

ふだんの学びを、
子どもたちの遊びへ!

3年ぶりに一般来場者をお迎えして開催となった、仁愛大学祭2022世灯祭。
子ども教育学科でも、コロナ禍以前の恒例コーナーであった「フィールドワーク演習」を実施!
普段の学びを活かした多様な遊びを用意して、子どもたちに楽しい時間をお届けしました!!

わくわく迷路に挑戦! 「スーパーじんだいわーど」

未就学児～小学生まで対象の迷路アトラクション。テレビゲームの世界をモチーフにした空間で、通路や壁、トンネルを抜け、ゴールを目指します。途中にはキャラクターがたくさん登場し、参加者を出迎えます。敵キャラクターにボールをぶつけて退治するなどのゲーム性も備えています。



作りたかったのは、
いろんな楽しみ方ができる迷路。

子ども教育学科2年
水嶋奏太 | 羽水高校出身 |

キャラクターを発見したり、敵の倒し方を考えたり、遊び方そのものを発見できる迷路を目指しました。大変だったのは、パーティションの数を合わせたり絵を描いたりすること。当日は、男の子や女の子、幅広い年齢の子どもたちが参加してくれて嬉しかったです。



海を舞台に大暴れ! 「楽しめ!海賊フェスティバル」

コンセプトは、タイトル通り「海賊」。海賊になりきって船のへさきに立ち、各種の海を舞台にしたゲームを行います。海賊の人形にボールを当てる「的当て」ゲーム、海に溺れている人を助ける「輪投げ」、磁石の仕掛けでかわいい魚を釣り上げる「魚釣り」、3つのゲームを用意しました。

キミは何匹見つけられるかな? 「さがせ!どうぶつの森」

木々が生い茂る「森」、ビルやタワーなどが立ち並ぶ「都会」、輝く青い海がモチーフの「南国」という3つのボードを用意し、それぞれに関連する動物をたくさん描きました。子どもたちには、ボード上にあふれる動物を全部見つけるチャレンジしてもらいます。



企画から具体化へ。
そのプロセスが勉強になった。

子ども教育学科2年
西浦晴菜 | 道守高校出身 |

私は2つの企画に参加しました。それぞれ企画を立て、それをどうやって具体的に落とし込んでいくかをみんなで話し合っ進めていきました。そのプロセスが非常に勉強になりました。海賊の役に入りなりきるなど、自分たちもすっかり楽しめました。



ホームカミングデー、開催!

卒業生と在学生・教員との親睦を深め、情報交換を通じて支援を図ることを目的とする、子ども教育学科のホームカミングデーを今年は3年ぶりに開催。今回は、福井市の認定こども園で保育教諭を務める平野友佳子さん(7期生・2019年卒)

をゲストスピーカーに迎え、仕事の面白さや大変さについて話していただきました。他にも多くの卒業生たちが社会人生活の感想などを伝えてくれました。それぞれ悩みなどを抱えつつも、社会人として成長した姿が見られました。